



ところが
ある日突然
本家の伯父さんが
家に怒鳴り込んで
来たんだよ

この結婚は
絶対許さない
もう二度と会う事も
させらなつて：
ばあちゃんの
お父さんにね



ばあちゃんには
昔、職場で知り
合った恋人がいた
んだよ
Sさんといつてね

いつしか結婚の約束もして
周りの人達もその事を
喜んでくれてね、日取りも
決まってる、あとはその日を
待つだけだったんだよ



ばあちゃんには
反対される
理由がわから
なかった

ばあちゃんの父さんも
何かすごく話しずら
そうだったけど
何も知らずに納得
なんて、できる
わけもないさ



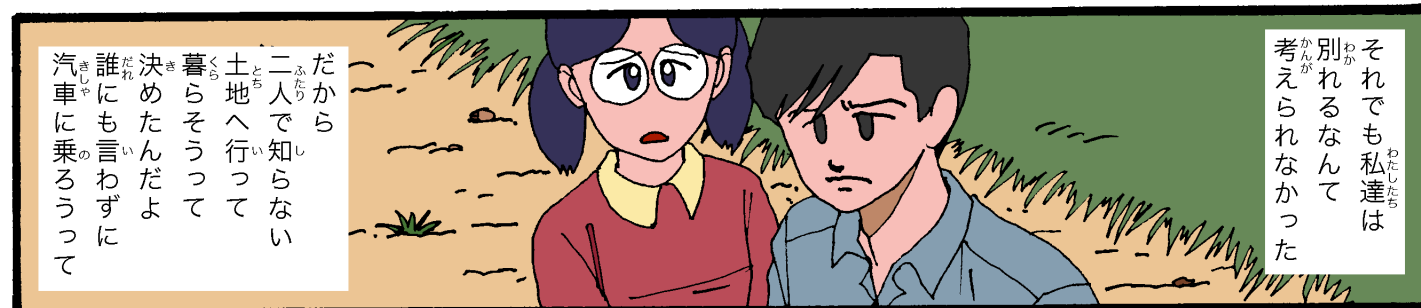
何日か経って
やっと父さんが
話してくれたよ

Sさんは
部落の出だから
この結婚は
本家の許しを
得られない

もしお前達が
駆け落ちでもして
結婚しようものなら
本家はこの家と縁を切り
土地も財産も全て
取り上げると言ってるって

ひどい話したと
思うだろ
ただ
父さんも母さんも
苦しんでる事は
わかったんだよ

だけどね
あの時代じゃ
本家にさからつて
暮らして行く事
なんてできな
かったんだよ



それでも私達は
別れるなんて
考えられなかった

だから
二人で知らない
土地へ行って
暮らそうって
決めたんだよ
誰にも言わずに
汽車に乗るうって